

第2回大分の歌音楽祭

コロナ禍で開催した音楽祭

当イベントは一昨年に行われた大茶会開催をきっかけに「自遊展（四極会芸術文化祭）」の一部として始まったものです。音楽を通して「人々に繋がってもらいたい」として「大分のことをもっと知って欲しい」という思いから今年度も10月17日（土）に大分市中央町の”お部屋ラボ祝祭の広場“で開催いたしました。

現在、私たちの前にはコロナウイルスという大きな壁が立ちはだかっています。当たり前にあった日常が一旦消え去ってしまい、新たな生活様式を築いていかなければいけません。

イベントは四極会の方々の支援の下、大分大学経済学部渡邊ゼミ生が主体となり企画・運営して参りました。本年度は学校もオンライン授業となり、打ち合わせもオンラインを中心に行ってきました。昨年とは異なり、屋外での開催を決定し、若者から高齢者までみんなが集えるものに仕上げたいと試行錯誤し内容を詰めてきました。

音楽祭は、2022年に迎える大分大学経済学部創立100周年イベントとしても位置づけており、大分大学についても知ってもらいたいという思いも込められております。

今回のテーマは「歌で会おう。音で繋がる」と題して開催しました。



出演者も来場者も元気に

当日の朝方は雨天ではありましたが、歌とともに天気も回復し、総勢242名の方にご来場いただきました。午前は高齢者向け、午後は若者向けとしておりましたが、ニーズにも合致したものとなっております。出演者の方々の演奏からは学生自身も元気を頂きました。このご時世のた



め、出演者の方にとっても貴重な場所となったとお声を頂くことができました。会場では多くの方が立ち止まり、笑顔でステージを見ている姿から音楽の偉大さを実感いたしました。これからも大分のみんなが一つとなり頑張ることで、今まで以上の新たな日常を作り出せば幸いです。

来年度も続けます

2021年10月16日（土）第3回大分の歌音楽祭を開催することが決定いたしました。来年度も皆さんのお越しをお待ちいたしております。

終わりに、渡邊ゼミ生は今後とも大分の地域活性のためにアイデアを出し、大分の良さを多くの人に広めるため行動して参ります。何卒今後ともよろしく願い申し上げます。

大分大学経済学部社会イノベーション学科 渡邊博子ゼミ 村松 樹